

授業デザインシート

3年	教科	理 科	授業者	石野博行	本時	5/6
単元・教材名	自然の恵みと災害				場所	第一理科室
指導目標	自然の恵みと災害について、科学的に調査する方法を身につけている。【技能】 柱状図を読みとり、地層の重なりと傾きについて説明できる。【思考・表現】					
「主体的・対話的で深い学び」を目指す共通実践事項						
①基礎基本の確認 ②声出し・先読み ③学び合いの学習 ④自分の言葉で説明 ⑤一問のチャレンジ						
	主な学習活動	場 時間	共通 実践	指導上の留意点・形成的評価【●】		
導入	1 既習の学習事項を確認する。	一斉 3分	① ②	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子黒板で問題を提示し、声に出させて確認する。声が出ていない問題はその都度確認する。 ・ 前時で高隈山の模型をつくり、地形について調べたことを想起させる。 ・ 高隈山の地形について学習したが、地層はどうなっているか興味をもたせる。 ・ 寒天で作った傾きのある地層の模型を示し、疑問をもたせる。 ・ 学習課題が理解できたか確認する。 		
	2 身近な自然の例として高隈山について学習したことを想起する。	一斉 2分	① ②			
	3 地層の傾きについて疑問をもつ。	一斉 1分	① ②			
	4 本時の学習課題をたてる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">どうすれば地層の傾きを知ることができるか。</div>	一斉 2分	②			
展開	5 モデル実験について説明を聞く。	一斉 3分	②	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボーリング調査のかわりにストローを使って実験することをおさえる。 ・ 自分の考えをまとめさせ、ノートに記入させる。【●】 ・ 班で意見を発表させ、まとめさせる。 ・ 指の腹でストローの口を押さえながら抜くことを指導する。 ・ 地層の傾きを基に、地層の広がりイメージさせるようにする。 ・ 柱状図の予想をノートに書かせる。 		
	6 ボーリング調査を何か所行えば地層の傾きがわかるか考える。	個 4分	④			
	7 班で意見をまとめる。	班 6分	③ ④			
	8 模型の地層の傾きを調べる。	班 15分	③ ④			
	9 調べていない場所の柱状図を予想する。	個・班 7分	③ ④ ⑤			
終末	10 本時のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">柱状図と高さ(標高)から地層の傾きを知ることができる。</div>	一斉 2分	②	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の言葉を基に、まとめをする。 ・ 振り返りシートに記入させる。【●】 ・ 次時は単元の学習のまとめをすることを予告する。 		
	11 学習の振り返りをする。	個 4分	④			
	12 次時の予告を聞く。	一斉 1分				